



理事長 **岡部 憲昭**

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は遠賀信用金庫に対し、格別のご愛顧、お引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

かわいいメチャくんファミリーがご案内するディスクロージャー誌“ONSHIN REPORT 2017”が完成いたしました。遠賀信用金庫の業績や活動についてできる限りわかりやすく作成しましたので、ぜひご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国の経済は、アベノミクスの浸透に加え、世界的な景気回復の流れに浴して緩やかな回復基調にあります。しかしながら、深刻な人手不足が下押し要因として懸念されるほか、アメリカのトランプ政権の不確実性をはじめとする政治リスクや、北朝鮮の地政学的リスクなどの渦中において、不透明感はさらに増大しております。

金融情勢については、デフレ脱却を目指した日本銀行の「異次元緩和」にも関わらず、前向きな投資需要は盛り上がり欠け、だぶついた資金の多くは、不動産投資や金融機関同士の低金利競争に向かっていると云々ざるを得ません。

そのような中で遠賀信用金庫は、「地域の中小企業の発展と個人の生活の向上に寄与することに全力を尽くし、その使命を全うする。」という経営理念の下、地域に貢献し、地域とともに歩む協同組織金融機関として、様々な取り組みを展開してまいりました。

遠賀4町の行政、商工会、日本政策金融公庫と提携して発足させた「おんが創業支援協議会」においては、創業セミナー、創業塾を中心に創業支援に取り組んだ結果、順調な創業実績を上げることができました。また、地域の明日を担う若手経営者の育成を目的とした「おんしん未来創世塾」も、新たに4期生を迎え、その活動も充実してまいりました。さらに、遠賀信用金庫で公的年金をお受取りいただいているお客様を会員とする「おんしん おむすび会」では、地域の皆様の「結び」を深める活動として、「ふれあい旅行」をはじめ、博多座や博多新劇の観劇、そば打ちなどを実施し、多くの会員の皆様にお楽しみいただきました。

なお、本年1月には、福岡都市圏の事業先や個人のお客様に遠賀信用金庫の輪を広げるための営業拠点として、障がい者施設が運営するベーカリー・カフェとコラボした「おんしんローン・カフェ」をオープンしました。

平成28年度の決算につきましては、マイナス金利政策下の大変厳しい環境下ではございましたが、当期純利益は、983百万円と高い水準を確保することができました。ご預金に対するご融資残高の割合である預貸率は60.58%で、引き続き業界平均を大きく上回りました。金融機関の健全性を示す自己資本比率は14.17%と、国が定める基準(4%)の3倍を超えております。

会員の皆様には、本年度も業界の最高水準である8%の配当をさせていただくことになりました。

遠賀信用金庫は、「スモール イズ ナイス」の合言葉の下、規模が小さいからこそ可能な「素早い決定」「素早い対応」「手作りの心のこもったサービス」の実践を通して、地域に貢献し、地域の皆様のご期待に応えるべく、役職員一丸となって、懸命に努力して参ります。

今後とも、遠賀信用金庫に対し、格別のご厚情を賜りますようお願い申し上げ、皆様のご繁栄、ご健勝を心よりお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。

平成29年7月